

じゅ けん ばん ごう 受 検 番 号							

(記入してください。)

れい わ ねん ど
令和 7 年度
きゅうけんせつ き かい せ こうかん り だい に じ けんてい
2 級 建設機械施工管理第二次検定
ひつ す もんだい せ こうかん り ほう
(必須問題) 施工管理法
たくいつしき し けんもんだい
択一式試験問題

つぎ ちゅう い よ はじ
次の注意をよく読んでから始めてください。

[注 意]

- これは試験問題です。4 ページまであります。
- No. 1～No. 10 まで 10 問題があります。
必須問題ですから 10 問題すべてに解答してください。
- 試験問題の漢字のふりがなについては、複数の読み方がある場合があります。ふりがなは、問題の内容に影響がないものとします。
- 解答は、別の解答用紙に記入してください。
解答用紙には、必ず受検地、氏名、受検番号を記入し受検番号の数字をマーク(ぬりつぶし)してください。
- 解答の記入方法はマークシート方式です。

き にゅうれい
記入例

問題 番号	解 答 番 号
No. 1	① ● ③ ④
No. 2	① ② ③ ●
No. 3	● ② ③ ④

① ② ③ ④のうちから、正解と思う番号

を HB または B の黒鉛筆(シャープペンシルの場合
あいは、なるべくしんの太いもの)でマーク(ぬりつぶし)してください。

ただし、1 問題に 2 つ以上のマーク(ぬりつぶし)がある場合は、正解となりません。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してマーク(ぬりつぶし)し直してください。

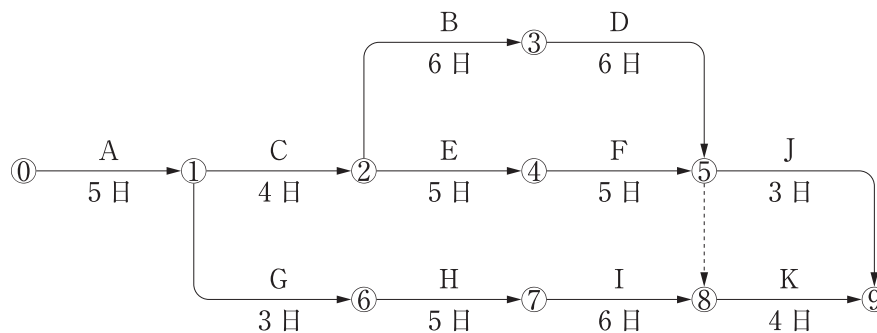
〔No. 1〕 工事の仮設備の施工計画または施工に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 指定仮設は、発注者が設計仕様、設計図面、数量、施工法、配置等を指定する。
- (2) 不可抗力を除く受注者の都合により任意仮設の数量に変更が生じたときは、発注者と協議して設計変更を行う必要がある。
- (3) 仮締切りの工事費は、工事の積算においては直接工事費として計上する。
- (4) 仮設備は目的物を施工するための臨時の構造物で、原則として工事完成後に取り除かれる。

〔No. 2〕 施工計画作成の留意事項に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 過去の実績や経験のみで満足せず、新しい工法や新技術の導入も検討して、現場に最適な施工計画を作成する。
- (2) いくつかの計画案を作成し、経済性、施工性、安全性等の長所・短所を比較検討して最適案を採用する。
- (3) 発注者の要求品質を確保するとともに、施工の安全を優先して計画する。
- (4) 社内で最も経験豊富な者や現場状況を熟知した者から指名した1名により作成する。

〔No. 3〕 下図のネットワーク式工程表に示された工事のクリティカルパスとして次のうち、適切なものはどれか。ただし、図中のイベント①～⑨の間のA～Kは作業内容、A～Kに示す日数は作業日数を表す。



- (1) ①→②→③→④→⑤→⑧→⑨
- (2) ①→②→③→⑤→⑨
- (3) ①→②→④→⑤→⑧→⑨
- (4) ①→②→③→⑤→⑧→⑨

〔No. 4〕 工程管理に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 工程管理は、計画→実施→検討→処置のPDCAサイクルの手順によって行う。
- (2) 工程管理は、工程計画に基づいて作成した工程図表を活用して行う。
- (3) 工程図表のガントチャートは、作業に必要な日数や工期に影響する作業を把握するのに適している。
- (4) 工程図表の工程管理曲線(バナナ曲線)は、工事の出来高や進捗率を確認するのに適している。

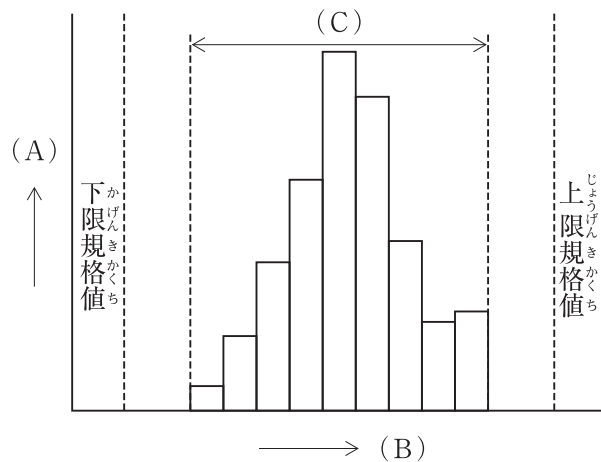
〔No. 5〕 移動式クレーンを用いた作業での安全確保に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 機体は水平に設置し、アウトリガーは原則として最大限に張り出す。
- (2) 運転開始から時間がしばらく経過した後にも、アウトリガーの状態を点検し、異常があれば修正する。
- (3) 荷の吊上げでは、介錯ロープを荷の重心位置に取り付け、荷の回転等を制御する。
- (4) 荷の吊上げでは、吊上げ時のブーム等のたわみで作業半径が大きくなることを考慮する。

〔No. 6〕 建設機械の取扱いにおける安全確保に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 杭打ち機等の高さのある建設機械は、常に水平に近い状態で使用し、作業前、作業中、作業後に機械の傾斜を計測する。
- (2) 公道に架空線がある場合は、作業場の出入口に車両等の高さ制限装置を設置しておくようにする。
- (3) トレーラへの自走による積込みは、道板から外れないように適宜ステアリング操作をして進路の修正を行う。
- (4) リース等による建設機械を使用する場合は、十分な点検整備が実施されていることを確認する。

- 〔No. 7〕 品質管理に用いられるヒストグラムを示した下図の(A)～(C)にあてはまる用語の組み合わせとして次のうち、適切なものはどれか。



- | (A) | (B) | (C) |
|-----------|-------|------|
| (1) 度数 | 品質特性値 | ゆとり |
| (2) 度数 | 品質特性値 | ばらつき |
| (3) 品質特性値 | 度数 | ゆとり |
| (4) 品質特性値 | 度数 | ばらつき |

- 〔No. 8〕 品質管理における工程(品質が作り出される過程)の安定の判定に用いられる $\bar{X}$ -R 管理図に関する記述として次のうち、適切なものはどれか。

- (1) 工事で得られた測定値を用いた統計的品質管理手法の1つである。
- (2) 管理図を見るだけでは、個々の測定値が規格値を満足しているかを評価できない。
- (3) 管理図の管理限界線は、測定値のばらつきを管理する目安となる。
- (4) 工程が良好な場合は、測定値に基づいて打点したデータが中心線の上側に連続して多く現れる。

- 〔No. 9〕 建設工事からの排水(工事排水)の水質汚濁対策に関する記述として次のうち、適切なものはどれか。

- (1) 公共用水域に排水するときは、水質汚濁防止法の規制を受ける。
- (2) 排水の汚染状態を示す項目には、浮遊物質(SS)や水素イオン濃度(pH)がある。
- (3) アルカリ性の排水の中和剤には、重曹が多く用いられる。
- (4) 排水中の浮遊物質は、凝集剤により沈降を促進させる。

〔No. 10〕 資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)上、指定副産物の再生資源に該当

しないものは、次のうちどれか。

- (1) 土砂
- (2) コンクリートの塊
- (3) 木材
- (4) 鉄骨